

# つばめ飛び、地域輝く

第三回 住民が地域の顔となる観光の街づくりへー八代地域

開業効果が広がる客層。そして誰もが楽しめる街に。



「日奈久温泉は、近年ほかの温泉地に押されがちでした。しかし、新幹線の開業後は、日奈久全体の宿泊客数が前年を大きく上回りました。また、訪れる交通手段と客層にも変化が表れました」と語る八代市の日奈久温泉観光協会の松本寛三会長。三月の新幹線開業を機に、新幹線と肥薩おれんじ鉄道の乗り継ぎや、新八代駅からのタクシースーパースタッフ商品などの登場で交通手段が多様化したといえます。

「顕著なのは、ファミリーやカップルなど若い世代の小グループ旅行の増加です。また以前は九州圏内がほとんどでしたが、関東・関西からのお客さまも増えています」。

『漂泊の俳人種田山頭火ゆかりのこの地では、九月は日奈久で山頭火や、日奈久街並みウォッチング』

「九月は日奈久で山頭火や、日奈久街並みウォッチングなどのイベントに数年前から取り組んできました。また、開業をきっかけに、いつ誰が訪れても楽しむことのできる街づくりを目指し、温泉街に点在する七つの恵比須様を巡る「恵比須めぐりスタンプラリー」も実施。昔ながらの街並みをゆっくりに散策するといふこの企画は、日奈久の良さを再発見できると、観光客だけでなく、地元の人にも好評です。



日奈久温泉観光協会会長

松本 寛三さん

「この企画は、日奈久の良さを再発見できると、観光客だけでなく、地元の人にも好評です。」

開湯六百年と全線開業に向け、さらなる観光の街へ

「リピーター一誘致も含め、勝負はこれから」と語る松本会長。五年後の開湯六百年、さらに新幹線全線開業に向け、地域一丸となった街づくりが進められています。八月から始まった日奈久街並み観光ガイド「養成もその一つ。歴史学習や実地研修を重ねた住民ボランティアが地域のガイドを務めるというものです。」



日奈久街並みウォッチング

「みそ工房や焼き物、そして山頭火が滞在した旅館『織屋』など、日奈久には数多くの歴史的な財産が残っています。住民にとっては見慣れた風景だけに、見落としていたことも多いのです。街の良さを再認識し、住民一人ひとりが日奈久温泉の顔になるような人の温かさが伝わる街を目指したいですね」。

空き店舗の全国的な入居公募や、対岸の天草と日奈久を航路でつなぐ交通網の充実なども含め、オープンな街づくりに取り組んでいきたいという松本会長。人と歴史が融合する新たな観光への取り組みに期待が高まります。



九州新幹線「つばめ」



肥薩おれんじ鉄道

## は〜い! 県議会

今回の「は〜い! 県議会」では、「委員会」についてお知らせします。

### 😊「委員会」って何?

- Q1 「委員会」って、どんなことをするのですか?
- A1 委員会には、常任委員会と特別委員会があり、複雑化・多様化する県の業務に対応するために、本会議に先立ち、議案についての詳細な検討や専門的な審査などを行っています。委員会は、定例会などの会期中だけでなく、閉会中も必要に応じて開かれます。
- Q2 「常任委員会」と「特別委員会」には、どのようなものがありますか?
- A2 常任委員会は、常設の委員会で、総務、厚生、経済、農林水産、建設、文教治安の6つの委員会があります。主に、本会議から送られてきた議案、請願などの審査や調査を行います。各議員は、いずれかの常任委員会に属しています。特別委員会は、特定の事柄を調査、検討するた



委員会開催の様子

めに必要に応じて設置されます。現在、財政対策、交通対策、廃棄物対策、有明海・八代海再生の4つの特別委員会と、県の決算状況の審査をする決算特別委員会が設けられています。

なお、常任・特別委員会のほかに、議会運営委員会も設けられており、各会派間の連絡調整などを行い、議会の円滑な運営を図っています。

Q3 「委員会」で決まったことは、その後どう処理されるのですか?

A3 常任委員会の審査経過の概要と結果については、本会議において各委員長から報告されます。また、特別委員会は、原則として、年1回、2月(または3月)定例会で委員長報告が行われます。最終的には、本会議において、付託議案の審査、報告を聞いて意見を出し合ってから議会としての意思決定が行われます。

Q4 閉会中は、どんな活動をしているのですか?

A4 委員会では、閉会中も重要事項の調査や各地の視察を行うなど、県民の皆さんの要望や意思を県政に反映させるよう活発な活動を行っています。



「委員会」では本会議で決定する前に少人数で議案などを分担し専門的に詳しく調査し話し合います。

